



2023年2月19日 日
 ゆめタウン徳島「セントラルコート」
 (バス停「ゆめタウン」すぐ)



見てみよう! 体験しよう! 関西各地の伝統芸能

みなさんの地域や関西で大切に守り伝えられてきた伝統芸能を見て体験できるイベントです。
 迫力ある踊りや舞、太鼓等の楽器はどうして生まれ伝えられてきたの?
 直接見て、なるほどね! と気づけばもっと身近になるよ。

入場無料 オリジナル金太郎あめほか
 ノベルティ進呈 (限定数先着順)

見てみよう!!

11:00~、14:00~ 2回ステージ

- 11:05~ 阿波おどり (徳島県)
- 14:05~ 和知太鼓 (京都府)

体験しよう!!

12:00 和知太鼓を体験しよう!

ワークショップ (和知太鼓保存会)

※先着にて参加受付



藍吹雪



和知太鼓保存会



令和4年度文化庁文化芸術振興費補助金
 (地域文化財総合活用推進事業)



主催: 関西広域文化観光資源活用地域活性化実行委員会 (事務局: 関西広域連合 広域観光・文化・スポーツ振興局文化課)

見てみよう!! 体験しよう!!

見て
みよう



あわ 阿波おどり

徳島県

400年以上の歴史を持つ阿波おどり。その起源には諸説ありますが、江戸時代に徳島藩が藍や塩などで裕福になって以降、盛んに踊られるようになったと言われています。阿波おどりは市民社会にも受け入れられ、民衆娯楽として、特に戦後は復興の象徴として目覚ましく発展していきました。踊りのグループは「連」と呼ばれます。伝統ある有名連や企業連、学生連など、様々な連を組んで楽しむことができるのも阿波おどりの魅力です。

藍吹雪(あいふぶき)

「阿呆連」の鳴り物衆5人が主となり、平成10年に結成した太鼓集団。枠を越えて各連の精鋭となる鳴り物や踊り子も参加する『幻の太鼓集団』と呼ばれています。



会場で答えてプレゼントをもらおう

阿波おどりで二拍子のお囃子のリズムをなんと呼ぶでしょう?

- ① やつとな ② ねきみ ③ ぞめき

見て
みよう



わちだいこ 和知太鼓

京都府

約千年前、源頼光が、大江山の鬼退治のため京を出発。道中で雷雨を凌いだ藤森神社(旧和知町)を出陣する際、村人が太鼓を打ち鳴らし、兵士を鼓舞して送り出したのが「和知太鼓」の起源とされます。

「地打ち」「大打ち」の2人が1つの太鼓を打つ基本形を継承しつつ、時代に合わせ「乱れ打ち」など勇壮な技法も取り入れて、人々の喜怒哀楽を豊かに表現するものに進化してきました。

和知太鼓保存会

昭和40年「和知民芸保存会太鼓部」から名称を変更し発足。地元の和知太鼓練習場での週2回の定期練習で技を磨き、各種のイベントでの演奏活動を精力的に行っています。



会場で答えてプレゼントをもらおう

和知太鼓保存会が練習場として拠点とする施設はどれでしょう?

- ① 役場の会議室 ② だんじりの格納庫 ③ 学校だった校舎

体験
しよう

わちだいこ 和知太鼓を体験しよう!

実際に演奏に使用した太鼓で、和知太鼓の基本を体験してみよう。当日の会場ステージ付近の受付にて先着で参加受付。

お問い
合わせ

関西伝統文化フェア事務局

TEL:075-212-5221 (受付時間:平日10:00-18:00 担当:竹井)/FAX:075-231-4677
info@kansaidento.jp 〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上ル蔭絵屋町 256番地

kansaidento.jp

